

令和2年度 事業内部評価

令和2年度に浜松市文化振興財団文化事業課にて開催した鑑賞型事業の内、10公演(6企画)について内部事業評価を実施しました。評価指標は前年度事業評価方式を継続して採用しています。

1 実施した内部事業評価項目

■目標設定

事業開催目的及び狙い、損益分岐点の設定、予算設定、収益目標額、自主財源投入予定額

■事業成果と評価

目的及び狙いの達成度、入場者・参加者・実績値、収支状況

■結果確認、改善点および今後の方向性

達成度・実績値・収支状況による総合評価、担当者・所属長による状況分析及び改善点

2 評価点基準及び総合判定基準根拠

I 目標達成度

満足度	アンケート結果による顧客満足度（良い・大変良いの集計）の割合。そのまま評価点に表記。
-----	--

II 参加者等

券売率	当初設定された有効販売数に対する販売実績率。100%で完売。
入場率	有効座席数に対する入場者実績率。100%で満席。
達成率	券売目標率に対する券売率の達成率。100%で目標達成。

評価点は下記の表により決定

	点数
満席	100
目標達成率 101%～満席未満	90
目標達成率 100%～91%	80
目標達成率 90%～81%	70
目標達成率 80%～71%	60
目標達成率 70%～61%	50
目標達成率 60%～51%	40
目標達成率 50%～41%	30
目標達成率 40%～31%	20
30%以下	10

Ⅲ 収支状況

収入率	当初予定収入額に対する収入実績率。100%以上で収入増。
支出率	当初予定支出額に対する支出実績率。100%以下で経費削減。
財源投入率	当初予定されていた自主財源投入額に対する投入額実績。 100%以下で当初予定より投入額減少。0%で投入額0円、事業単体で収支は黒字。 また予定されていなかった投入額については実額で表記するとともに説明を加える。

評価点は下記の表により決定

	点数
完売	100
収支プラス～完売未満	90
収支0円～9%減	80
10%減～19%減	70
20%減～29%減	60
30%減～39%減	50
40%減～49%減	40
50%減～59%減	30
60%減～69%減	20
70%減以上	10

※収入には自主財源等を含める

Ⅳ 総合判定 評価総合結果の点数により、下記の通り設定

90点～	AA 非常に優秀な水準
70点～	A 優秀な水準
40点～	B 良好な水準だが改善改良の余地あり
20点～	C 一応の水準だがかなり問題あり
0点～	D 多くの問題あり

3 事業評価結果一覧

■事業概要					
事業名	幸和ハウジング クラシックスペシャル アクト・ニューアーティスト・シリーズ 2020				
開催日・場所	令和2年5月24日（公演中止）、7月5日（公演中止）、9月20日、12月6日、 令和3年2月21日（全5回／内2回中止） アクトシティ浜松 音楽工房ホール				
基本方針分類	交わる （クラシックファン層自身により若手アーティストの育成を支援し、文化交流を深める）				
内容・目標	実力があり、今後の活躍が期待される若手アーティストを採り上げることで、市民の音楽への関心を高めていくことを目的としている。 継続スポンサーにより、引き続きクラシック初心者でも来場しやすい価格設定を実現。割引いたお得な価格のパスポート（5回通し券）を設定することでリピーターを増やすとともに、演奏後のアフタートークを企画し、演奏家と聴衆の交流を図り、クラシックファンの拡大を狙う。アクトシティオープン以来続けているシリーズ。				
■事業成果と評価					評価点
I 目標達成度（満足度）	100.0%	アンケート回収枚数 18枚 回収率 7.7%			100点
II 参加者等	券売率	84.3%	コロナ対策による客席数制限をしたが、一定数の来場があった。年間パスポートの販売は中止した。		70点
	入場率	72.8%			
	目標達成率	86.0%			
III 収支状況（予算比）	収入率	81.6%	5公演中2公演が中止となったため、収入が縮小。また有料ライブ配信のための支出も多く、財源負担が増えた。		50点
	支出率	39.4%			
	財源投入率	203.2%			
■評価総合結果					
		①評価点	②ウエイト	①×②	総合判定 A
質的成果	I 目標達成度	100点	30	30.0点	
量的成果	II 参加者等	70点	40	28.0点	
	III 収支状況	50点	30	15.0点	
		合計		73.0点	
状況・改善点	<p>リピーターが多い人気企画。例年年間パスポートの購入者が来場者のほとんどを占めているが、コロナウイルスによる公演中止や客席数制限により、今回は販売を中止せざるを得なかった。それに伴い、年間を通しての固定客は減ったが、各公演に興味を持った来場者が多く、満足度が上がる結果になったのではないかと考える。</p> <p>本企画の特色でもあり、毎回多くの方に参加いただいているアフタートークは、飛沫防止のため今回実施できなかったが、今後は感染状況を見ながら、再開に向けて検討を重ねていく。</p> <p>電子チケットと実券を併用で販売。また一部公演で有料ライブ配信を試験導入。若手の出演者らが多く、出演者自身のSNSによる情報発信も活発だった。今後も出演者と連携して様々な形の広報展開を図る。</p>				

■事業概要					
事業名	アクト・プレミアム・シリーズ 2020 ～世界の名演奏家たち～				
開催日・場所	令和2年4月30日（公演中止）、6月29日（公演中止）、9月23日（公演中止）、12月15日、令和3年1月25日（全5回／内3回中止） アクトシティ浜松 中ホール				
基本方針分類	育てる・交わる（音楽を通じて市民の文化的満足度を高めるとともに、水準の高い芸術文化に触れる機会を提供）				
内容・目標	世界的に著名な演奏家を取り揃えたコンサート・シリーズ。音響で定評のある中ホールを会場とし、一流クラシック演奏を提供する。 本格クラシックファンの満足度向上を目指すほか、ワンコインコンサートの次のレベルを求める聴衆層に来場も促し、音楽人口の裾野を拡げる。				
■事業成果と評価					評価点
I 目標達成度（満足度）	95.5%	アンケート回収枚数 67枚 回収率 6.7%			96点
II 参加者等	券売率	37.2%	公演直前まで開催できるか分からない状況が続き、券売に繋がらなかった。		40点
	入場率	49.5%			
	目標達成率	53.0%			
III 収支状況（予算比）	収入率	21.3%	5公演中3公演が中止となったため、収入・支出ともに縮小。実施した2公演も券売が振るわず、財源負担増。		60点
	支出率	50.4%			
	財源投入率	149.8%			
■評価総合結果					
		①評価点	②ウエイト	①×②	総合判定 B
質的成果	I 目標達成度	96点	30	28.8点	
量的成果	II 参加者等	40点	40	16.0点	
	III 収支状況	60点	30	18.0点	
			合計	62.8点	
状況・改善点	<p>2017年より開始した、本格クラシックファン及びクラシック初心者を卒業した方向けの、一流クラシック公演シリーズ企画。</p> <p>毎年年間パスポート（全5回セット券）が完売する程、固定客も徐々に増えてきている本シリーズであるが、今回はコロナの影響により完売には至らなかった。実施の2公演についても例年に比べて来場者は少なかったものの、公演内容は申し分なく、来場された方の満足度は非常に高かった。</p> <p>コロナ禍で全国的にも公演中止が相次ぐ中、一流の演奏を生で楽しめる機会を提供できたことは、大変意味があったと思われる。電子チケットと実券を併用で販売。</p> <p>課題としては、本シリーズは海外アーティストの出演が多く、渡航制限により公演直前まで開催判断できない状況が多く、積極的な販促広報が困難であった。引き続きコロナの影響が予想されるため、コロナ禍での券売や広報の方法について研究していく。</p>				

■事業概要						
事業名	Road to 2027 プロジェクト in 浜松 仲道郁代 ピアノ・リサイタル Vol.2 「ドビュッシーの見たもの」					
開催日・場所	令和2年9月28日 アクトシティ浜松 中ホール					
基本方針分類	育てる・交わる (音楽を通じて市民の文化的満足度を高めるとともに、水準の高い芸術文化に触れる機会を提供)					
内容・目標	地元出身のピアニストである仲道郁代が、自身の演奏活動40周年とベートーヴェン没後200年が重なる2027年に向けたリサイタル・シリーズを、東京・浜松で開催。毎年テーマを設け、トークを交えた演奏会を実施する。 地元の小学生から高校生までの学生を無料招待し、若い世代を含めて音楽人口の裾野を広げることを目的とする。 指定寄附による事業企画。					
■事業成果と評価					評価点	
I 目標達成度 (満足度)	93.3%	アンケート回収枚数 30枚 回収率 8.0%			93点	
II 参加者等	券売率	54.2%	券売は振るわなかったが、出演者の人気もあり、目標を9.0p上回った。		90点	
	入場率	77.5%				
	目標達成率	109.0%				
III 収支状況 (予算比)	収入率	47.4%	コロナの影響により収容率50%で実施。		50点	
	支出率	99.1%	ほぼ当初予定どおりの事業規模。			
	財源投入	263.4%	客席数の制限及び入場料収入減により財源負担増。			
■評価総合結果						
		①評価点	②ウエイト	①×②	総合判定	
質的成果	I 目標達成度	93点	30	27.9点		
量的成果	II 参加者等	90点	40	36.0点	A	
	III 収支状況	50点	30	15.0点		
			合計	78.9点		
状況・改善点	<p>本事業は指定寄附金により企画。「多くの若い世代に聴いてもらいたい」との意向に従い、青少年への無料招待を実施した。</p> <p>こどもと保護者のペアでの来場が全体の約3割を占め、開催趣旨に適した来場者であったと考える。</p> <p>今回はコロナの影響により収容率50%での実施を余儀なくされ、チケットの買い控えもあったと予想されるが、アンケート結果においても「仲道郁代のピアノが聴きたい」との声が多く、満足度も高かった。</p> <p>電子チケットと実券を併用で販売。</p> <p>次年度も引き続き指定寄附事業として継続。</p>					

■事業概要						
事業名	五嶋龍 デビュー25周年 ヴァイオリン・リサイタル					
開催日・場所	令和2年11月30日 アクトシティ浜松 中ホール					
基本方針分類	育てる・交わる (音楽を通じて市民の文化的満足度を高めるとともに、水準の高い芸術文化に触れる機会を提供)					
内容・目標	ヴァイオリニストとして人気の高い五嶋龍のデビュー25周年を記念したヴァイオリン・リサイタル。全国13都市をまわるツアーの浜松公演。五嶋龍のネームバリューを活用し、若い世代を含めてクラシック層の裾野を拡げることを目的とする。					
■事業成果と評価					評価点	
I 目標達成度 (満足度)	93.3%	アンケート回収枚数 30枚 回収率 3.6%			93点	
II 参加者等	券売率	94.1%	券売は好調であったが、完売には至らなかった。コロナの影響か、券売に対しての入場者が普段に比べ少なかった。		80点	
	入場率	85.1%				
	目標達成率	98.0%				
III 収支状況 (予算比)	収入率	93.9%	コロナ禍において当初目標に近い券売となった。		90点	
	支出率	92.8%	ほぼ当初予定どおりの支出経費で収まった。			
	財源投入	-	当初予算どおり財源負担なし。黒字収支。			
■評価総合結果						
		①評価点	②ウエイト	①×②	総合判定	
質的成果	I 目標達成度	93点	30	27.9点		
量的成果	II 参加者等	80点	40	32.0点	A	
	III 収支状況	90点	30	27.0点		
			合計	86.9点		
状況・改善点	<p>アンケートでも毎回希望の多いヴァイオリニストである五嶋龍の演奏を浜松で聴けたということで、非常に満足度が高かった。また県外からの来場者も多く、アクトシティ浜松の宣伝にも繋がったと考えられる。</p> <p>新聞や県内のコンビニエンスストア(店内)への広告出稿を行ったことにより、若い世代を含め、幅広い客層に周知ができた。</p> <p>電子チケットと実券を併用で販売。チケット完売を目指すために、効果的な販促について今後も検討を続ける。</p>					

■事業概要					
事業名	演奏活動 20 周年記念 横坂源 無伴奏チェロ・リサイタル				
開催日・場所	令和 2 年 12 月 5 日 アクトシティ浜松 中ホール				
基本方針分類	育てる・交わる (音楽を通じて市民の文化的満足度を高めるとともに、水準の高い芸術文化に触れる機会を提供)				
内容・目標	市内在住の若手チェリスト、横坂源による無伴奏チェロ・リサイタル。演奏活動 20 周年を記念したツアーであるが、浜松公演のみの特別プログラムを用意。出演者が市内ジュニアオーケストラにおいても特別講師として指導していることを踏まえ、若い世代にもクラシック層の裾野を広げることを目的とする。				
■事業成果と評価				評価点	
I 目標達成度 (満足度)	94.1%	アンケート回収枚数 17 枚 回収率 3.1%		94 点	
II 参加者等	券売率	39.5%	券売は振るわなかったが、企業協賛により多くの学生に会場だけだった。	50 点	
	入場率	59.3%			
	目標達成率	63.0%			
III 収支状況 (予算比)	収入率	63.5%	券売落込みにより当初収入目標より 36.5 ポイント減。	80 点	
	支出率	63.5%	全体的に経費を抑制できた。		
	財源投入率	1.4 千円	当初財源投入 0% 予定のところ、負担額発生。		
■評価総合結果					
		①評価点	②ウエイト	①×②	総合判定
質的成果	I 目標達成度	94 点	30	28.2 点	
量的成果	II 参加者等	50 点	40	20.0 点	A
	III 収支状況	80 点	30	24.0 点	
			合計	72.2 点	
状況・改善点	<p>協賛企業のご厚意により、近隣の弦楽部の生徒に対して無料招待ができ、多くの学生に会場の機会を提供できた。</p> <p>現代曲を多数含む無伴奏チェロというプログラムは珍しく、来場者の満足度は高かったものの、一方でチケットの購入を考える上では、少しハードルが上がってしまった可能性は否めない。</p> <p>出演者は SNS 等を利用しておらず、今回出演者自身による広告知はできなかった。広報媒体が多様化している現在、若い世代を客層のターゲットとする場合は特に、出演者の発信力についても企画検討の際の参考としたい。</p> <p>電子チケットと実券を併用で販売。</p>				

■事業概要					
事業名	野村萬斎監修「アクトシティ能・狂言」				
開催日・場所	解説講座 令和2年11月1日 アクトシティ浜松 コンgressセンター 本公演 令和2年12月19日 アクトシティ浜松 大ホール（中規模）				
基本方針分類	創る・伝える（演者による監修で、浜松オリジナルの演出を考案。なじみの少ない伝統芸能をわかりやすく披露し、その魅力を次世代に伝える）				
内容・目標	人気狂言師、野村萬斎監修による浜松オリジナル演出の能・狂言。照明や映像、舞台機構を駆使し、600年以上の歴史を持つ洗練された伝統芸能の技法と現代の技術を融合させた新しいスタイルの舞台を展開することで、鑑賞人口の裾野を拡げ、古典芸能の振興を図る。 本公演に先立ち、イベントとして初心者向けの解説講座も開催。				
■事業成果と評価				評価点	
I 目標達成度（満足度）	97.3%	アンケート回収枚数 37枚 回収率 3.6%		97点	
II 参加者等	券売率	71.4%	コロナの影響によりチケットの売れ行きは思うようにいかなかったが、市内の能楽団体への販促も行き、一定の効果が得られた。	60点	
	入場率	67.5%			
	達成率	79.0%			
III 収支状況（予算比）	収入率	119.1%	J-LODlive 補助金の申請による収入増。	90点	
	支出率	105.0%	ほぼ当初見込みの経費で抑えた。		
	財源投入率	71.3%	補助金により、当初比 28.7p 減。		
■評価総合結果					
		①評価点	②ウエイト	①×②	総合判定 A
質的成果	I 目標達成度	97点	30	29.1点	
量的成果	II 参加者等	60点	40	24.0点	
	III 収支状況	90点	30	27.0点	
			合計	80.1点	
状況・改善点	<p>前回公演では字幕が見えにくいとの声が多数あったため、今回は文字の大きさや太さに改善を施したところ、字幕に関するご意見はなくなった。</p> <p>本企画での公演は4回目となるが、友人・知人の紹介で来場される方や、オリジナル演出見たさに来場される方も増えており、県内はもちろん、全国的にも少しずつ周知され、関心が高まってきていると感じる。</p> <p>本公演の見どころや能・狂言の楽しみ方を紹介する事前のレクチャー公演も開催し、能・狂言愛好者だけでなく、初心者に向けても来場促進を図ることができた。電子チケットと実券を併用で販売。今回はコロナの影響により券売が伸び悩んだが、今後は全国的な広報も見据え、次回の開催に繋げたい。</p> <p>経済産業省「コンテンツグローバル需要創出促進事業費補助金（J-LODlive）」の補助金獲得。今後も文化助成制度を調査し積極的に活用する。</p>				